



豊里

よさこいチーム老人施設慰問

北海道から「YOSAKOI & ねぶた in とよさと」に招待したチーム北海道大学「縁」とコンサフリーク〜北海道武蔵女子短期大学〜は8月5から6日、市内の老人ホームを慰問し、よさこい演舞を披露しました。
慰問は、学生から入居者に演舞を楽しんでもらいたいと申し出があり実現。「北海道 YOSAKOI ソーラン祭り」で上位の学生たちの派手なパフォーマンスと迫力ある演舞に、入居者らは大きな拍手を送りました。

プロがあなたの生活お手伝い

登米市建設職協同組合米山支部会員は7月23日、事前に申し込みがあった高齢者世帯を訪問し、建具の調整、電球の交換、包丁研ぎ、障子の張り替えなどをボランティアで手伝いました。
活動は年1回実施しており、今年で5回目。18人の会員が6班に分かれ、29世帯でそれぞれ作業しました。依頼者は、プロの作業で新しくなった障子などを見て、「大変助かりました」と感謝していました。



米山

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

始まりは元気に「おはよう」

「迫地区あいさつ運動」(青少年のための登米市民会議迫支部主催・小林富雄支部長)は8月28日、迫町内の小中学校で実施され、運営委員や地区推進員ら約50人が、登校する児童生徒とあいさつを交わしました。
運動は、青少年が明るい希望に向かって、健やかに心身共にたくましく成長することが目的。声を掛けられた子供たちは、大きな声で「おはようございます」とあいさつし、一日の始まりを元気よくスタートさせました。



石越

世代越え白熱した試合が展開

「石越町剣道サマーフェスティバル」は8月6日、石越体育センターで開かれ、町内の剣道愛好家が、世代を超えて交流しました。
催しは、小学生から大人まで剣道に親しむことを目的に開催しており、今年で9回目。小学生と保護者の親子対決、小学生から一般までの混合4人チームによる団体戦が組まれ、参加者は日頃経験できない対戦を楽しみながら、白熱した試合を繰り広げました。

もっこり牛丸焼きに長蛇の列

南方産牛のPRと消費者との交流が目的の「もっこり牛まつり」は8月14日、南方総合支所前で開かれ、多くの人でにぎわいました。
目玉である、南方産のもっこり牛の丸焼きには、配布前から長蛇の列。約千人前を無料で振る舞いましたが、わずか数分でなくなりました。来場者は、バーベキューやカレーなど、南方産の食材を味わい、民謡などのステージイベントや輪投げなどで、楽しい一日を過ごしました。



南方



東和

自然満喫しながら楽しく交流

「あそびの探検隊隠れキリシタンの里であそぼう！」(青少年のためのあそびの探検隊、東和町子ども会育成協議会主催)は8月19から20日まで、米川綱木親和会館で開かれ、小学生やジュニアリーダーら約20人が参加しました。
子どもたちは、流しそうめんの資材や食器の製作、近隣農家から食材を調達してカレー作り、スイカ割りなどを楽しみ、夜は室内でキャンドルサービスなどをして交流を深めました。



津山

街の歴史伝える懐かしい写真

「津山宝 発掘写真展」は8月5から19日まで、道の駅津山「もくもくランド」で開かれ、約1400人の来場者が会場を訪れました。
写真展は、地域住民から提供された写真178点を展示。特別展として、現在と過去の陸前横山駅の写真を展示しました。明治から昭和にかけての街並みや当時の暮らしを物語る写真などが展示され、来場者は当時の情景を懐かしみながら、興味深く眺めていました。

多くの仲間とまた会う日まで

中田地区5小学校6年生の交流合宿「八ん子かっぱ村」は、8月5から7日まで、国立花山青少年自然の家で開かれ、118人が参加しました。
かっぱ村は、中学校入学前の仲間づくりと、小学校最後の夏休みの思い出づくりが目的。沢登りやキャンプファイヤーなどで交流を深めました。橋樑くん=加賀野小=は「滝ジャンプがとても楽しかった。他校の友達がたくさんきたので、中学校で再会するのが楽しみ」と話していました。



中田